

無機系注入式アンカー セメフォースミルク 500 1100

アンカー筋挿入後に注入可能な無機系アンカー

セメフォースミルクとは

カートリッジ容器を用いた注入式無機系アンカーです。①「アンカー材料を注入後、アンカー筋を挿入する方法」と、②「アンカー筋を先に挿入し、後に注入パイプよりアンカー材料を注入する方法」の2種類の施工方法が可能です。穿孔径が小さくても差し込みやすいので、φ10以下の細いアンカー施工にも最適です。

セメフォースミルクの特長

セメント系材料

セメント系のため、硬化後はコンクリートと同質となります。カートリッジ内に専用水を注入、容器を振って攪拌します。専用を使用するので、常に正しい水セメント比で使用できます。

セメフォースミルクの荷姿



※荷姿は製造上の都合で、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

種類	容量	入数、備考
セメフォースミルク500	500ml	10本/箱 ロングノズル 10本入り
セメフォースミルク1100	1100ml	6本/箱 ショートノズル 6本入り ※φ22×26のビニルホースをショートノズルに取り付けて注入してください。

- ① **耐久性**
無機なので、火や水に強い
- ② **不燃性**
不燃材で、臭いもない
- ③ **湿潤面施工**
水中施工が可能

※水中施工は発注者と事前協議し使用してください。

- ④ **上向き施工**
垂れにくい
- ⑤ **高い環境性能**
VOCガス、臭いの発生がありません



エポキシ系注入式アンカーと、同等の使い勝手を実現。通年1タイプで使用可能。注入しやすく、アンカー筋を差し込みやすい。アンカー筋挿入後に注入パイプによるアンカー材注入が可能。

セメフォースミルクの作り方

水を入れる前にカートリッジを5~6回空振りし、セメントの塊がないことを目視で確認してください。



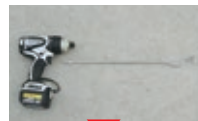
専用水を全量投入してください。次に注入口を専用キャップで締めてください。



セメフォースを横にして5~6回、大きく振って専用水とセメント材料をしっかりと混ぜ合わせてください。



攪拌方法



セメフォースミキサーはカートリッジ内のセメントを攪拌する専用ミキサーです。(別売)



セメフォースミキサーをカートリッジに差し込み、カートリッジを足に挟んで固定し、セメフォースミルク500は45秒、セメフォースミルク1100は70秒、攪拌してください。



セメフォースアンカー空押しスタンド(別売)を用いて、材料をノズル口まで押し上げます。

専用ガンにセットし、ノズルを取り付けます。

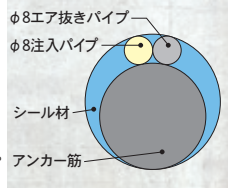


■セメフォースミルクの仕様

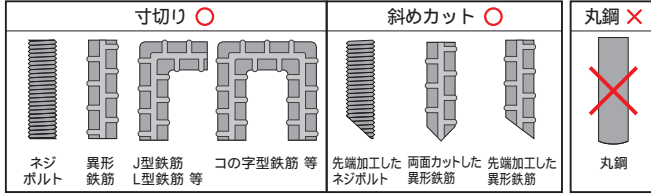
セメフォースミルク 注入用パイプ

内径	外径×肉厚 (mm)	適用範囲 (注入長さ, 方向)
φ7	φ8×0.5	500mm以下
φ8	φ10×1.0	1000mm以下

パイプ材質:真鍮、銅等を使用し、アルミは使用しないでください。
注入パイプ、エア抜きパイプがアンカー筋と干渉する場合、内径6mm程度まで潰して使用してください。
パイプ注入の詳細は、施工要領書をご確認ください。



アンカー筋の形状



ボルト、異形鉄筋の先端形状は、寸切り、斜めカットが使用できます。丸鋼は使用しないでください。挿入にはハンマーによるたたき込みでも打撃でも使用できます。

■材料の品質 (一例)

試験項目	時間	測定値	試験条件
圧縮強度	1日	28.2N/mm ²	JSCE-G505-1999
	28日	59.2N/mm ²	
付着強度	7日	18.8N/mm ²	D19, 7d コンクリート強度 28N/mm ²

使用期限 セメントカートリッジに記載の製造日より2年間

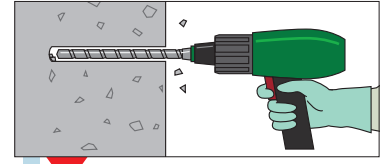
■副資材 (別売)

副資材	備考
① セメフォースミキサー-500, 1200	100V電動ドリルで使用、500のみ18Vインパクトドライバも使用可
② 500専用ハンドガン	セメフォースミルク500用
③ 500専用電動ガン	セメフォースミルク500用
④ 1200専用電動ガン	セメフォースアンカー-1200およびセメフォースミルク1100に使用できます
⑤ 空押しスタンド500用	セメフォースミルク500用
⑥ 空押しスタンド1200用	セメフォースアンカー-1200およびセメフォースミルク1100に使用できます
⑦ 500用小径ノズルφ8	穿孔径φ8~φ14用

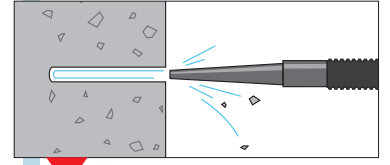
セメフォースミルク 穿孔径

アンカー筋	推奨穿孔径 φ (mm)	使用可能穿孔径 φ (mm)	穿孔長 参考 7d仕様 (mm)
	アンカー筋あと挿入	アンカー筋あと挿入 アンカー筋先付け	7d仕様以上の穿孔径でも使用可
M6	8	8~12	42
M8	10	10~14.5	56
D10	12	12~30	70
M10	12	12~30	70
D13	16	16~35	91
M12	14	14~35	84
D16	20	20~40	112
M16	18	18~40	112
D19	24	22~40	133
M20	22	22~40	140
D22	28	28~42	154
M22	25	25~42	154
M24	28	28~45	168
D25	32	30~52	
M27	32	30~52	
D29	37	35~52	
M30	34	32~52	
D32	40	38~52	
M33	36	36~56	
D35	44	42~56	
M36	40	40~56	
D38	46	46~65	
D41	50	50~65	
M42	48	46~65	
M48	54	52~70	
D51	65	60~75	
M56	65	60~80	
M60	70	65~80	
M64	70	70~90	
M68	75	75~90	
M80	90	90~110	
M90	100	100~120	
M100	110	110~130	

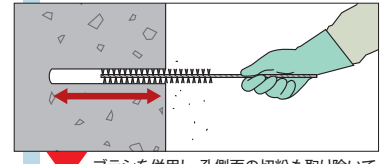
■施工方法



コンクリートドリルがコアで穿孔します。

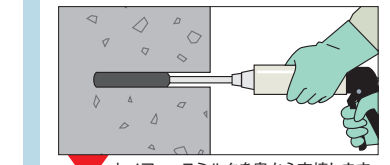


ブロアーや掃除機で丁寧に切粉を除去します。

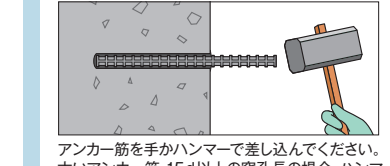


ブラシを併用し、孔側面の切粉も取り除いてください。

【パターン1】アンカー筋あと挿入

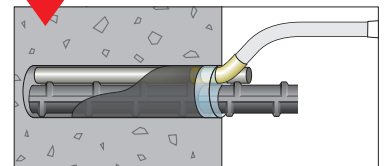
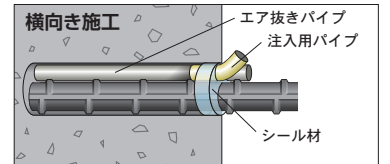


セメフォースミルクを奥から充填します。

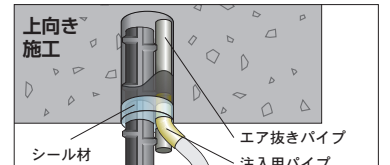


アンカー筋を手かハンマーで差し込んでください。太いアンカー筋、15d以上の穿孔長の場合、ハンマードリルの打撃モードによる挿入をお勧めします。

【パターン2】アンカー筋先付け



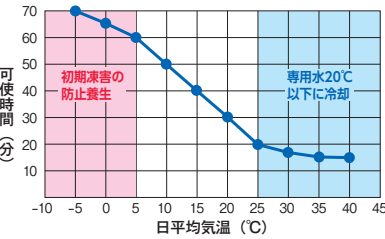
注入パイプよりセメフォースミルクを充填します。



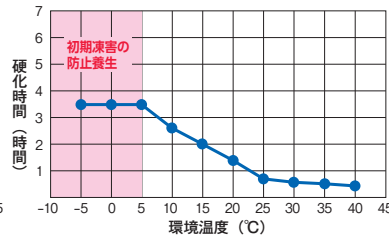
上向き施工も可能です。

■温度とハンドリングタイム、硬化時間、施工確認試験

●ハンドリングタイム



●硬化時間



- 専用は通年使用できます。
- 気温25度以上では、専用水を20℃以下になるよう冷却してお使いください。冷却処置を行わないと急結する場合があります。
- 5℃以下では、施工後に硬化するまで、凍結防止処置を行ってください。
- 硬化時間はD16鉄筋、規格降伏強度に達する時間の目安です。
- アンカー筋の台直しをする場合は、ハンドリングタイム内または、硬化時間を過ぎて、セメフォースミルクが硬化していることを確認してから行ってください。

取り扱い上の注意

- 保管は直射日光を避け、冷暗所に安置してください。
- 本製品は強いアルカリ性を示し、目、鼻、皮膚等を刺激し、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、手袋、防塵マスク、防護めがねを必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗浄し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合はきれいな水で十分に洗い流してください。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4 (アクア堂島東館15F)
名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 (住友生命名古屋ビル3F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2 (札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1 (SS30 3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1 (井門金沢ビル7F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4 (四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1 (広島稲荷町NKビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5 (紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は